

国道57号現地診断

(長崎県雲仙市小浜町大字南木指)

令和2年12月6日に防災点検の現地診断において、国道57号204k810付近(小浜町大字南木指)の山側斜面より落石(被害無し。)が発生し、上部斜面に不安定岩塊が分布することから、豪雨時にはさらなる落石の発生が予想されるため追加調査及び対策工の検討が必要と考えられることから、学識者による現地診断を実施した。

出席者:九州大学 三谷教授、長崎大学 蔣教授

● テックドクターによる調査(令和2年12月6日)



【今回の落石について】

・大雨により落石が発生したことで、ポケット式ロックネットが破損し、道路まで礫が落下していると思われる。

【対策方法について】

- ・ポケット式ロックネットの破損部分を覆う形でネットを補修する
- ・道路沿いには落石防止の簡易土留めを設置する
- ・背面は植生が繁茂しており、ロックネット破損の一因となっている事から伐採する